

社保審－介護給付費分科会

第148回 (H29.10.27)

参考資料 3－2

介護給付費分科会－介護報酬改定検証・研究委員会

第14回 (H29.10.25)

資料 1－2

**(2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の  
施設の役割を踏まえた利用者等へのサービス  
の在り方に関する調査研究事業  
(速報値)**

## (2)医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

### 1. 調査の目的

平成27年度介護報酬改定においては、地域包括ケアシステムの構築を推進するため、介護老人保健施設で提供される在宅復帰・在宅療養支援機能の取組みの更なる評価を行うとともに、介護療養病床で提供される日常的な医学管理・看取りターミナルケアの機能等を療養機能強化型として評価した。

これらの見直しが介護老人保健施設及び介護療養病床のサービスにどのような影響を与えたかを調査するとともに、平成30年度介護報酬改定に向け、医療提供を目的とした介護保険施設の役割をより明確化するため、それぞれの施設類型における利用者の状態、医療・介護の提供内容等について調査を行う。

### 2. 調査方法

調査方法はいずれも調査票を用いた郵送調査。厚生労働省より提供を受けた全国の事業所・施設名簿をもとに対象事業所・施設を抽出

調査対象・回収状況	
①介護老人保健施設調査	【母集団】全国の介護老人保健施設4,225事業所 【発出数】全数(被災地を除く、4,210事業所) 【回収数】1,282事業所【回収率】30.5%【有効回収数】959事業所【有効回収率】22.7%
②病院調査	【母集団】全国の療養病棟入院基本料1または2を算定する病棟を有する病院・介護療養型医療施設3,458施設 【発出数】全数(被災地を除く、3,443施設) 【回収数】956施設【回収率】27.8%【有効回収数】683施設【有効回収率】19.8%
③診療所調査	【母集団】全国の療養病床を有する診療所878施設 【発出数】全数(被災地を除く、872施設) 【回収数】367施設【回収率】42.1%【有効回収数】259施設【有効回収率】29.7%
④入所者・入院患者調査(含む タイムスタディ調査)	【対象者の抽出方法】①②の対象施設の入院患者・入所患者のうち、誕生日が14日の人全員 【回収数】3,406件

(回収数は9月12日時点で回収した件数である。有効回収数は8月30日時点までに回収した調査票のうち、有効であると確認し、集計した件数である。8月31日から9月12日に回収した調査票については、当該速報値には未反映)

## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

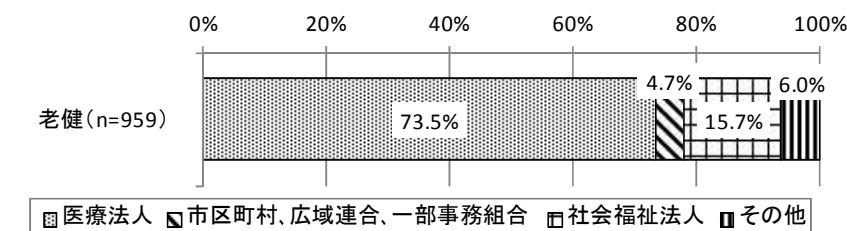
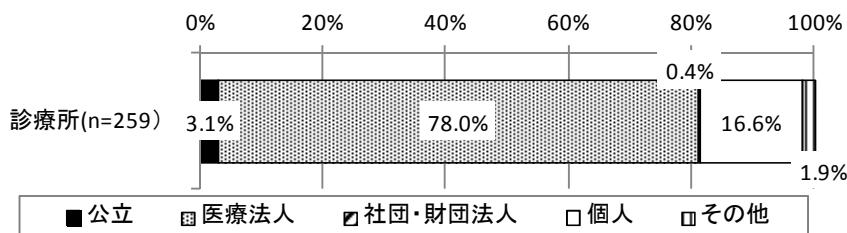
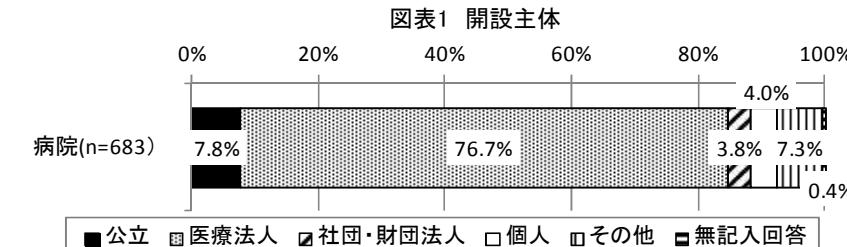
### 3. 調査結果概要

#### 1) 回答施設の基本情報

○病院の開設主体は、「医療法人」が76.7%、「公立」が7.8%であった。

診療所は、「医療法人」が78.0%、「個人」が16.6%であった。

介護老人保健施設(以下、老健)は、「医療法人」が73.5%、「社会福祉法人」が15.7%であった。

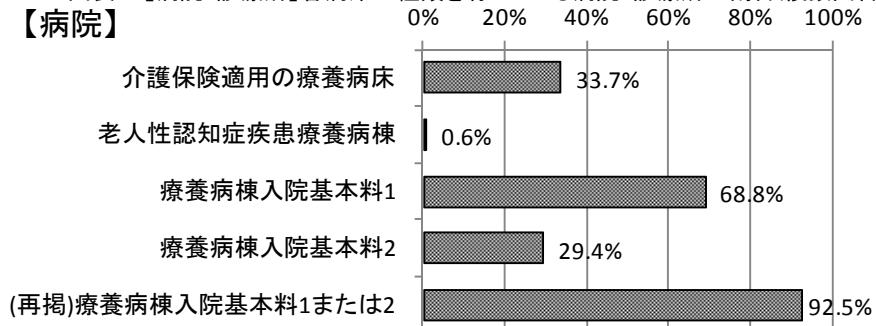


※「医療法人」は医療法人社団、医療法人財団、社会医療法人を指し、「社団・財団法人」には「医療法人」は含まれない。

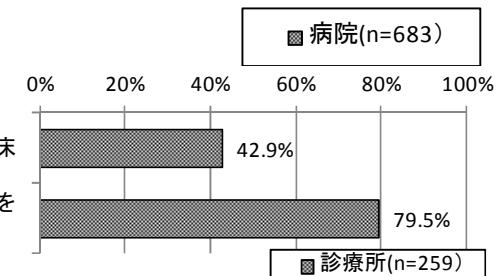
○各病床の種類を有している病院・診療所の割合は、「療養病棟入院基本料1」が68.8%、「介護保険適用の療養病床」が33.7%であった。診療所は、「有床診療所療養病床入院料を算定する病床」が79.5%、「介護保険適用の療養病床」が42.9%であった。

図表2 【病院・診療所】各病床の種類を有している病院・診療所の割合(複数回答)

#### 【病院】

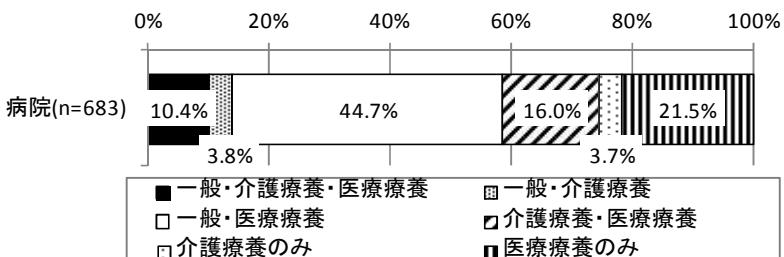


#### 【診療所】



○病院が有する病床種別の組み合わせは、「一般・医療療養」の割合が44.7%であった。

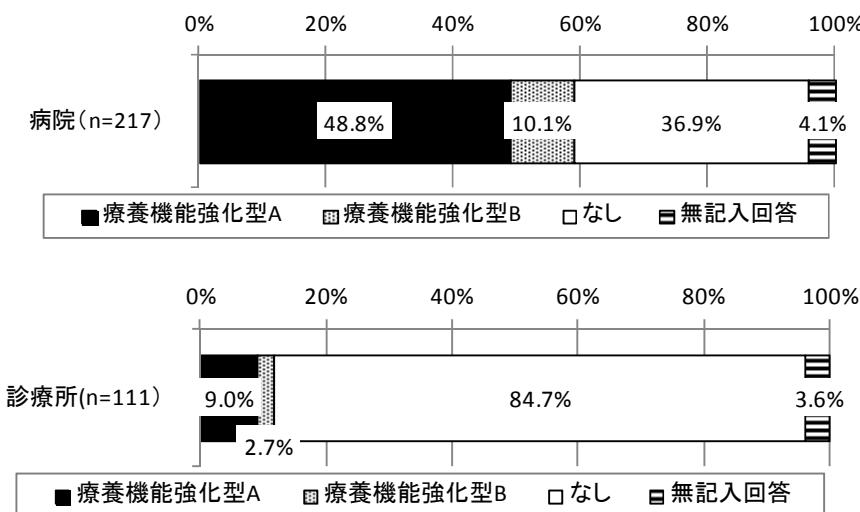
図表3 【病院】病床種別の組み合わせの状況



## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

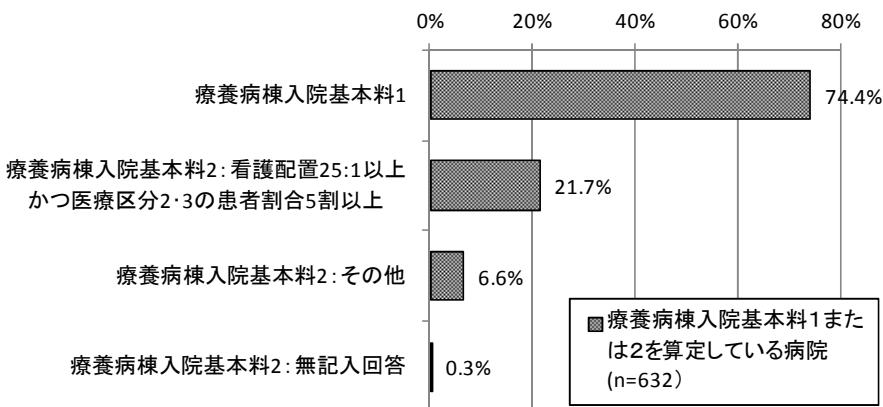
○療養機能強化型の届出状況は、病院では「療養機能強化型A」が48.8%、「療養機能強化型B」が10.1%であった。  
診療所では「療養機能強化型A」が9.0%、「療養機能強化型B」が2.7%であった。

図表4【病院・診療所：介護保険適用療養病床】療養機能強化型の届出状況



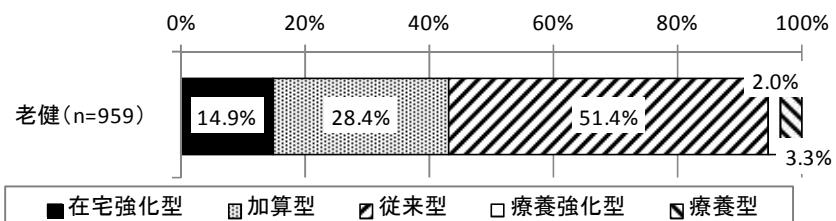
○療養病棟入院基本料1または2を算定している病院において、「療養病棟入院基本料1」を有している病院は74.4%、「療養病棟入院基本料2」のうち、看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の割合が5割以上」は21.7%であった。

図表5【病院：療養病棟入院基本料1または2を算定している病院】  
有している病棟の種別(複数回答)



○老健の介護報酬上の届出は、「在宅強化型」が14.9%、「加算型」が28.4%、「従来型」が51.4%であった。

図表6【老健】介護報酬上の届出



注)加算型は在宅復帰・在宅療養支援機能加算届出有の施設、従来型は加算型を除く

## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

- 病院で「介護療養病床」を有する場合、当該病床数は平均62.5床、「療養病棟入院基本料1」を有する場合、当該病床数は平均65.6床であった。診療所では「介護療養病床」を有する場合、当該病床数は平均9.5床、「医療療養病床」を有する場合、当該病床数は平均8.8床であった。

図表7【病院】介護療養型医療施設の1施設あたりの当該病床数(単位:床)

	n	平均値	標準偏差	中央値
介護療養病床	208	62.5	60.6	45.0
【再掲】療養機能強化型	128	72.9	60.3	55.0
【再掲】療養機能強化型以外	80	46.0	57.6	32.0
老人性認知症疾患療養病棟	4	67.5	35.9	55.0

図表8【病院】療養病棟入院基本料1・2を有する病院の1施設あたりの当該病床数(単位:床)

	n	平均値	標準偏差	中央値
療養病棟入院基本料1	426	65.6	49.1	50.0
療養病棟入院基本料2	179	52.0	40.3	45.0
【再掲】看護配置25:1以上かつ医療区分2・3の患者割合5割以上	137	51.5	42.3	46.0
【再掲】その他	42	53.5	33.3	45.0

図表9【診療所】介護療養病床の1施設あたりの当該病床数(単位:床)

	n	平均値	標準偏差	中央値
介護療養病床	107	9.5	5.8	8.0

図表10【診療所】医療療養病床の1施設あたりの当該病床数(単位:床)

	n	平均値	標準偏差	中央値
医療療養病床	187	8.8	5.0	8.0

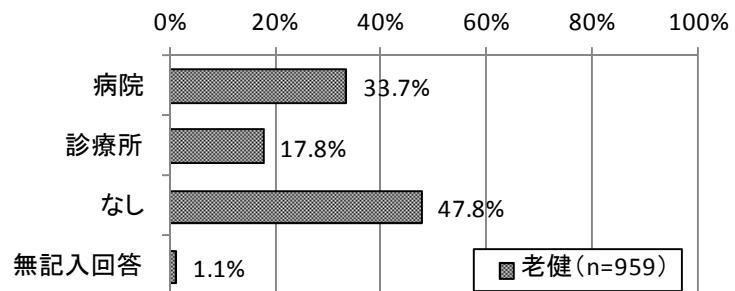
- 老健の入所定員は、「在宅強化型」で平均87.3人、「加算型」で平均90.3人、「従来型」で平均89.2人であった。

図表11【老健】入所定員(単位:人)

	n	平均	標準偏差	中央値
全体	915	87.3	33.8	100.0
在宅強化型	137	87.3	27.0	98.0
加算型	257	90.3	31.7	100.0
従来型	471	89.2	34.3	100.0
療養強化型	19	57.9	43.4	40.0
療養型	31	52.8	39.3	48.0

- 老健の併設医療施設は、「病院」が33.7%、「診療所」が17.8%であった。介護報酬の届出等別では、在宅強化型では「病院」が44.8%、療養強化型では「診療所」が57.9%、療養型では「診療所」が59.4%であった。

図表12【老健】併設医療施設(複数回答)



	n	病院	診療所	なし	無記入回答
全体	959	323 100.0%	171 33.7%	458 17.8%	11 47.8%
在宅強化型	143 100.0%	64 44.8%	19 13.3%	60 42.0%	1 0.7%
加算型	272 100.0%	98 36.0%	33 12.1%	138 50.7%	4 1.5%
従来型	493 100.0%	144 29.2%	89 18.1%	256 51.9%	6 1.2%
療養強化型	19 100.0%	6 31.6%	11 57.9%	2 10.5%	0 0.0%
療養型	32 100.0%	11 34.4%	19 59.4%	2 6.3%	0 0.0%

## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

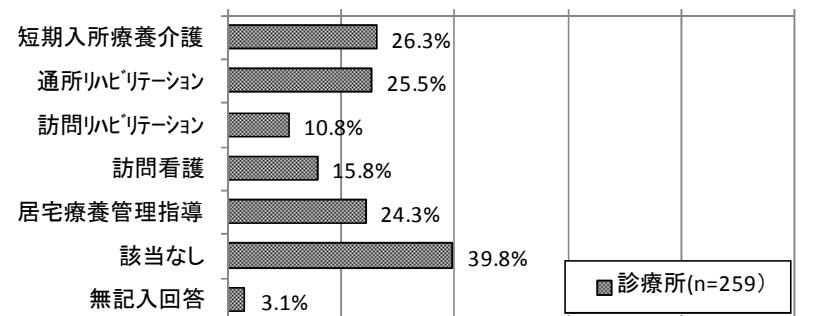
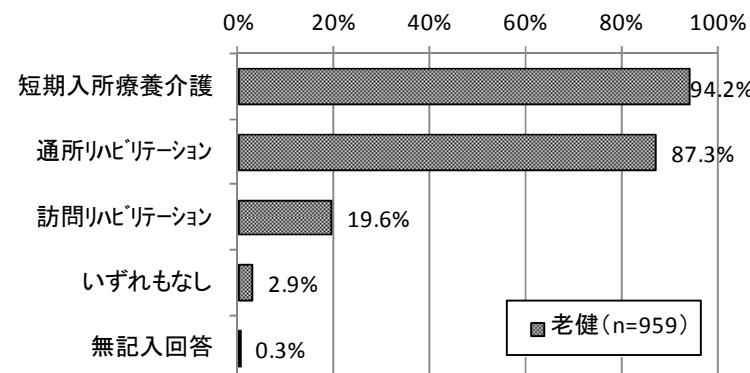
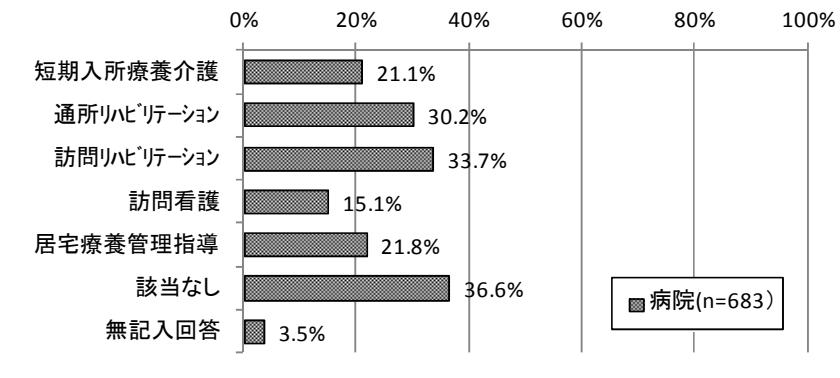
○併設サービスは、

病院では、「該当なし」が36.6%、「訪問リハビリテーション」が33.7%、「通所リハビリテーション」が30.2%であった。

診療所では、「該当なし」が39.8%、「短期入所療養介護」が26.3%、「通所リハビリテーション」が25.5%であった。

老健では、「短期入所療養介護」が94.2%、「通所リハビリテーション」が87.3%、「訪問リハビリテーション」が19.6%であった。

図表13 併設サービス(複数回答)



	n	短期入所療養介護	通所リハビリテーション	訪問リハビリテーション	訪問看護	居宅療養管理指導	該当なし	無記入回答
介護療養病床を有する病院	230 100.0%	135 58.7%	82 35.7%	92 40.0%	46 20.0%	70 30.4%	48 20.9%	3 1.3%
介護療養病床を有する診療所	111 100.0%	63 56.8%	39 35.1%	15 13.5%	22 19.8%	34 30.6%	19 17.1%	3 2.7%

【老健】

	n	短期入所療養介護	通所リハビリテーション	訪問リハビリテーション	いずれもなし	無記入回答
全体	959 100.0%	903 94.2%	837 87.3%	188 19.6%	28 2.9%	3 0.3%
在宅強化型	143 100.0%	143 100.0%	134 93.7%	47 32.9%	0 0.0%	0 0.0%
加算型	272 100.0%	260 95.6%	255 93.8%	59 21.7%	3 1.1%	1 0.4%
従来型	493 100.0%	467 94.7%	431 87.4%	77 15.6%	11 2.2%	0 0.0%
療養強化型	19 100.0%	10 52.6%	5 26.3%	0 0.0%	7 36.8%	1 5.3%
療養型	32 100.0%	23 71.9%	12 37.5%	5 15.6%	7 21.9%	1 3.1%

## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

### 2) 老健の平均在所日数

○老健の平均在所日数(中央値)は、在宅強化型では207.3日、従来型では432.9日、療養型では347.9日であった。

図表14【老健】 平均在所日数、ベッド回転率、ベッド利用率(中央値)

	n	平均在所日数(中央値)(平成29年5月～7月)	ベッド回転率(中央値)(平成29年5月～7月)
在宅強化型	138	207.3日	14.7%
加算型	259	267.6日	11.4%
従来型	465	432.9日	7.0%
療養強化型	16	488.3日	6.3%
療養型	27	347.9日	8.4%

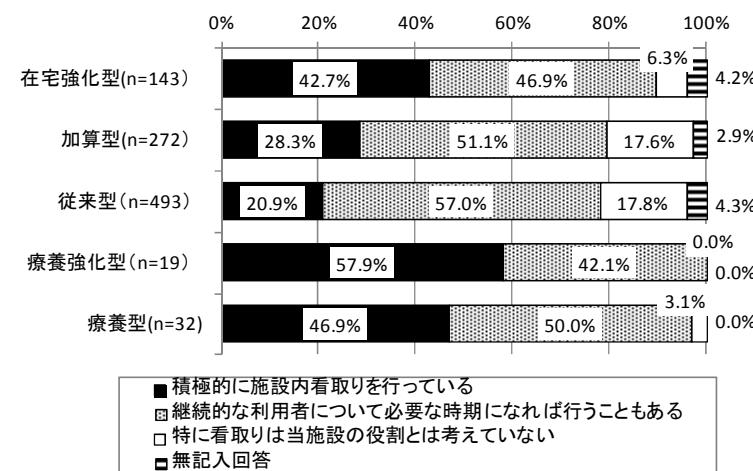
	n	ベッド利用率(中央値)(平成29年8月2日時点)
	137	88.9%
	257	91.0%
	471	93.3%
	19	100.0%
	31	93.8%

### 3) 老健の看取りについての方針

○老健の看取りについての方針として、「積極的に施設内看取りを行っている」が在宅強化型では42.7%、従来型では20.9%、療養型では46.9%であった。

「特に看取りは当施設の役割とは考えていない」は在宅強化型では6.3%、従来型では17.8%、療養型では3.1%であった。

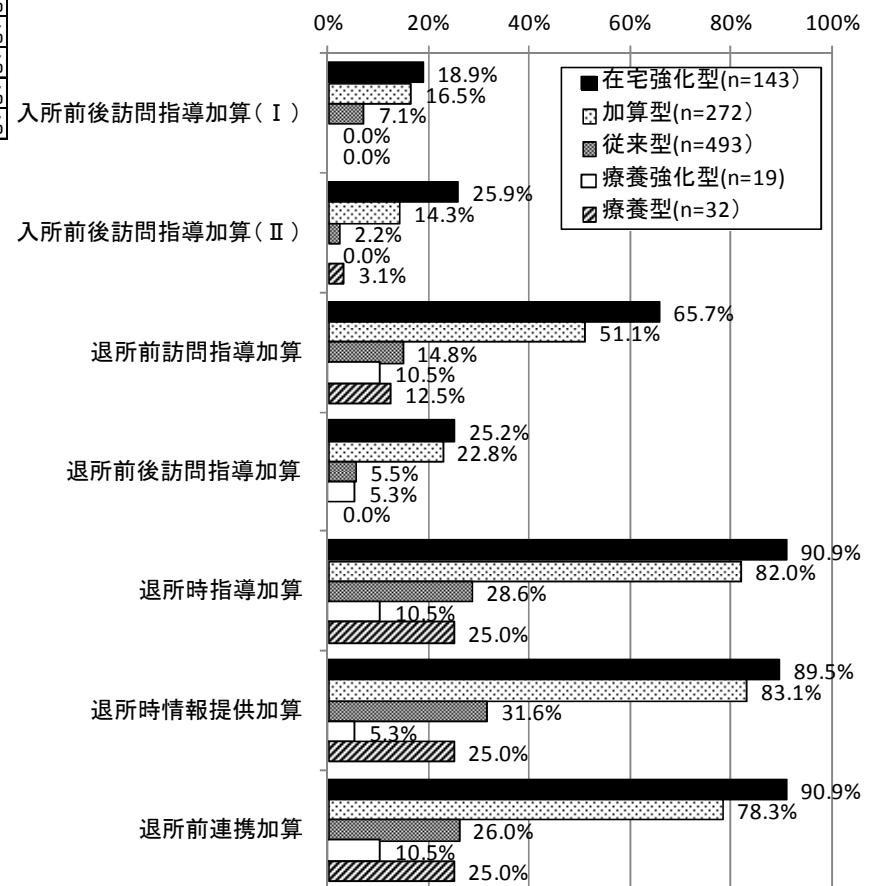
図表15【老健】 看取りについての方針



### 4) 老健の加算の算定状況

○老健において、平成29年7月分として算定した加算は、「在宅強化型」で「退所時指導加算」「退所前連携加算」がそれぞれ90.9%であった。

図表16【老健】算定した加算(平成29年7月)



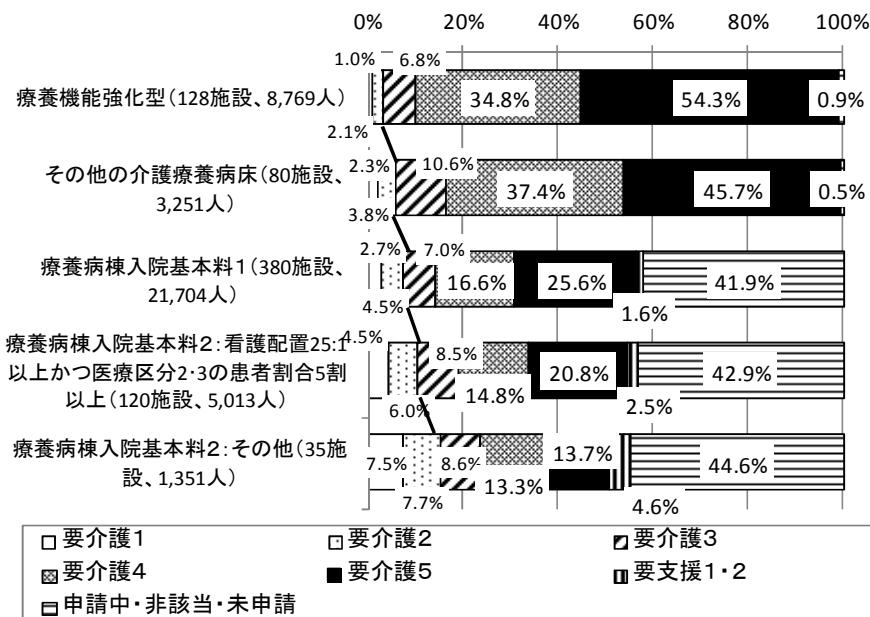
## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

### 5) 病院の入院患者・老健の入所者の状況

#### ○病院の入院患者の要介護度は、

療養機能強化型では「要介護5」が54.3%、「要介護4」が34.8%であった。  
その他の介護療養病床では、「要介護5」が45.7%、「要介護4」が37.4%であった。  
療養病棟入院基本料1では「申請中・非該当・未申請」が41.9%、「要介護5」が25.6%であった。

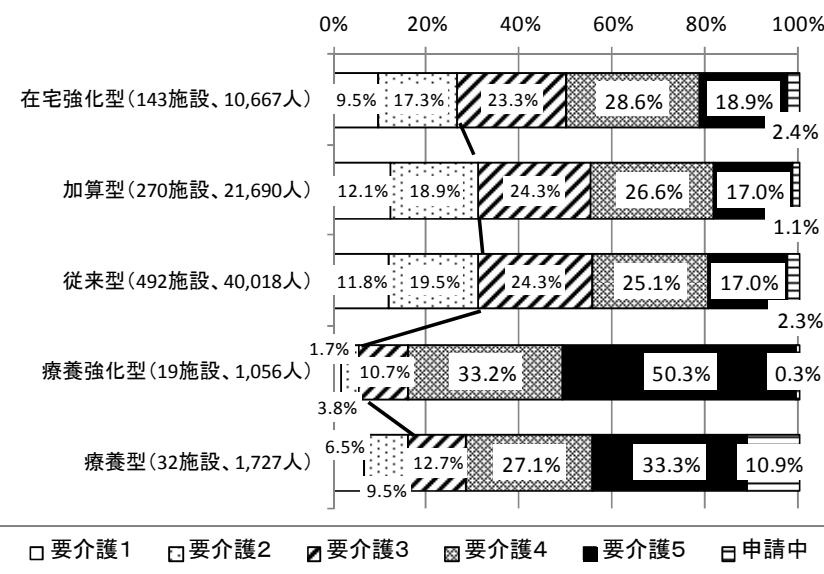
図表17 【病院】要介護度



#### ○老健の入所者の要介護度は、

在宅強化型では「要介護4」が28.6%、「要介護3」が23.3%であった。  
従来型では「要介護4」が25.1%、「要介護3」が24.3%であった。  
療養型では、「要介護5」が33.3%、「要介護4」が27.1%であった。

図表18 【老健】要介護度



## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

### ○ 処置等の実施割合について、

「胃ろう・腸ろうによる栄養管理」は介護療養病床で20.1%、療養病棟入院基本料1で21.5%、在宅強化型で5.5%、療養型(老健)で17.7%であった。  
 「経鼻経管栄養」は、介護療養病床で23.7%、療養病棟入院基本料1で21.9%、在宅強化型で1.3%、療養型(老健)で8.6%であった。  
 「カテーテルの管理」は、介護療養病床で13.7%、療養病棟入院基本料1で22.9%、在宅強化型で4.7%、療養型(老健)で7.8%であった。  
 「喀痰吸引」は、介護療養病床で31.9%、療養病棟入院基本料1で57.1%、在宅強化型で6.2%、療養型(老健)で17.5%であった。  
 「静脈内注射」は、介護療養病床で12.9%、療養病棟入院基本料1で20.5%、在宅強化型で5.1%、療養型(老健)で7.5%であった。  
 「浣腸」は、介護療養病床で24.9%、療養病棟入院基本料1で24.5%、在宅強化型で9.9%、療養型(老健)で14.1%であった。  
 「摘便」は、介護療養病床で29.3%、療養病棟入院基本料1で27.9%、在宅強化型で9.9%、療養型(老健)で22.7%であった。  
 「リハビリテーション」は、介護療養病床で67.8%、療養病棟入院基本料1で63.1%、在宅強化型で80.0%、療養型(老健)で85.7%であった。  
 「ターミナルケア」は介護療養病床で13.3%、療養病棟入院基本料1で5.7%、在宅強化型で2.8%、療養型(老健)で2.4%であった。

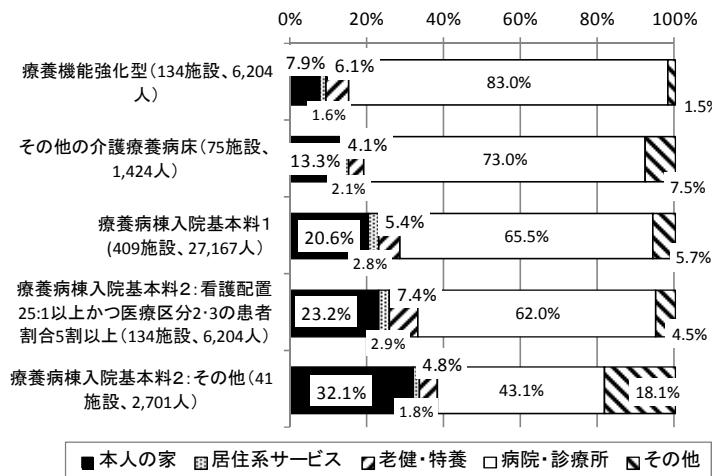
図表19 処置等の実施割合(単位:%)

	介護療養 病床	【再掲】療養 機能強化型 (病院)		療養病棟入 院基本料1	療養病棟入 院基本料2	【再掲】看護配置25:1 以上かつ医療区分2・3の 患者割合5割以上		【再掲】 その他
		【再掲】療養 機能強化型 (病院)	【再掲】 その他			【再掲】看護配置25:1 以上かつ医療区分2・3の 患者割合5割以上		
回答施設数	206	127	79	419	176	136	40	
入院患者・入所者数	11,944	8,700	3,244	24,535	7,757	6,125	1,632	
胃ろう・腸ろうによる栄養管理	20.1	21.6	15.9	21.5	11.9	12.9	7.9	
経鼻経管栄養	23.7	25.2	19.5	21.9	18.5	19.7	13.9	
中心静脈栄養	1.6	1.8	1.0	19.2	12.4	13.8	6.9	
カテーテルの管理	13.7	14.0	13.2	22.9	20.5	21.6	16.3	
ストーマの管理	1.1	1.1	1.1	1.3	1.2	1.2	1.4	
喀痰吸引	31.9	35.1	23.4	57.1	34.3	36.0	27.7	
エフライザー	1.7	2.0	0.9	5.4	3.9	4.5	1.7	
酸素療法	5.6	5.8	5.0	26.7	18.1	20.5	8.9	
気管切開のケア	1.0	1.1	0.7	12.9	3.9	4.5	1.8	
人工呼吸器の管理	0.0	0.0	0.1	2.3	0.6	0.7	0.5	
静脈内注射	12.9	12.8	13.2	20.5	19.5	20.4	16.1	
皮内、皮下及び筋肉内注射	1.8	1.7	2.1	3.8	3.0	3.1	2.9	
簡易血糖測定	7.7	7.6	7.8	16.3	11.9	12.6	9.5	
インスリン注射	3.4	3.6	2.8	8.8	6.0	6.7	3.4	
疼痛管理(麻薬なし)	1.8	1.4	2.8	2.5	3.1	2.2	6.4	
疼痛管理(麻薬使用)	0.2	0.2	0.2	1.7	1.1	1.3	0.5	
創傷処置	9.6	9.3	10.5	11.8	9.9	10.3	8.5	
褥瘡処置	4.9	4.2	6.7	10.9	10.9	11.7	7.8	
浣腸	24.9	25.8	22.5	24.5	15.6	15.8	14.8	
摘便	29.3	31.7	22.7	27.9	21.9	22.0	21.3	
導尿	1.4	1.5	1.0	2.2	2.5	2.2	3.6	
膀胱洗浄	2.7	2.5	3.2	4.3	3.5	3.4	4.0	
持続モニター測定	3.6	3.9	2.8	17.7	12.4	14.2	5.7	
リハビリテーション	67.8	72.6	55.0	63.1	47.7	48.8	43.4	
ターミナルケア	13.3	17.6	1.5	5.7	4.5	4.4	4.8	
歯科治療	11.9	14.0	6.3	11.4	5.8	6.5	3.2	

## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

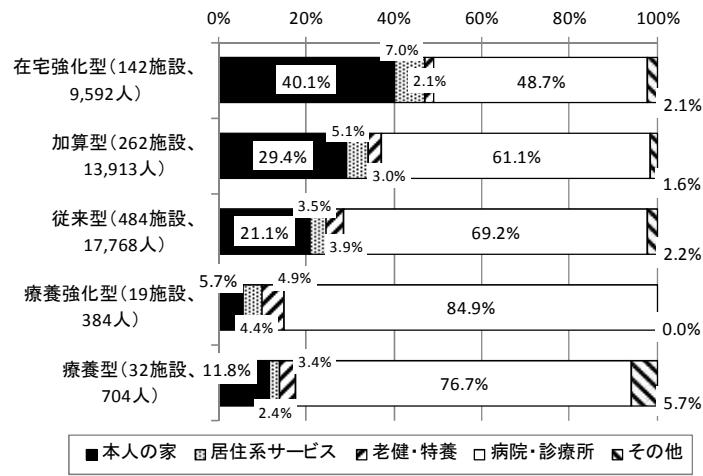
○病院の入院患者の入院前の居場所は、  
療養機能強化型では「病院・診療所」が83.0%、「本人の家」が7.9%であった。  
その他の介護療養病床では「病院・診療所」が73.0%、「本人の家」が13.3%であった。  
療養病棟入院基本料1では「病院・診療所」が65.5%、「本人の家」が20.6%であった。

図表20 【病院】入院患者の入院前の居場所



○老健の入所者の入所前の居場所は、  
在宅強化型では「病院・診療所」が48.7%、「本人の家」が40.1%であった。  
従来型では「病院・診療所」が69.2%、「本人の家」が21.1%であった。  
療養強化型では「病院・診療所」が84.9%、「本人の家」が5.7%であった。

図表21 【老健】入所者の入所前の居場所



注)当該調査における用語の取扱い

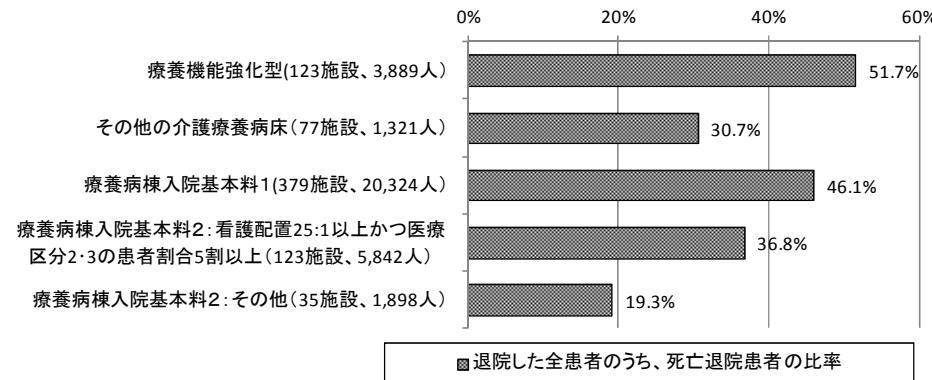
本人の家	兄弟・親戚等や知人・友人の家を含む
居住系サービス等	有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(※特定施設入居者生活介護の事業所を含む)

## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

### 6) 病院・老健の入退所の状況

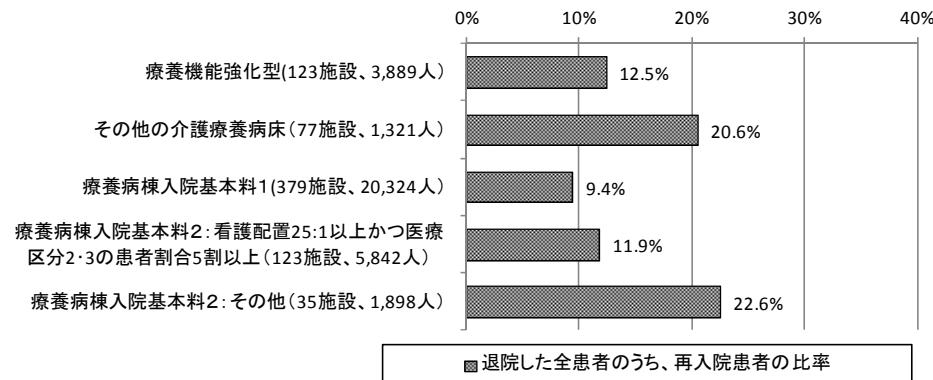
○平成29年1月1日～6月30日の期間に病院を退院した全患者のうち、死亡退院の患者の比率は、療養機能強化型では51.7%、療養病棟入院基本料1では46.1%であった。

図表22 【病院】退院患者のうち、死亡退院患者の比率



○平成29年1月1日～6月30日の期間に病院を退院した全患者のうち、調査時期までに再入院した患者の比率は、療養病棟入院基本料2:その他で22.6%、その他の介護療養病床で20.6%であった。

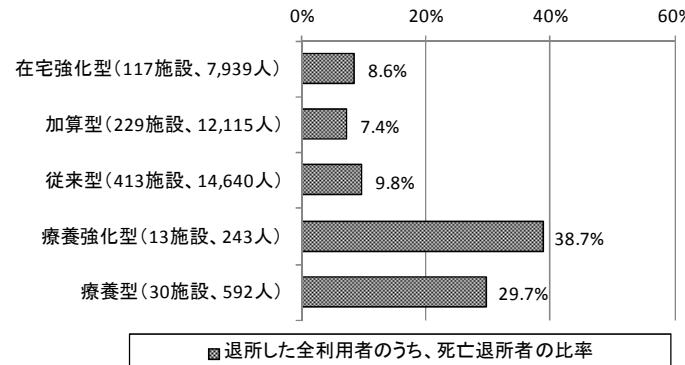
図表24 【病院】退院患者のうち、再入院患者の比率



※退院した全患者には、死亡退院した者も含む

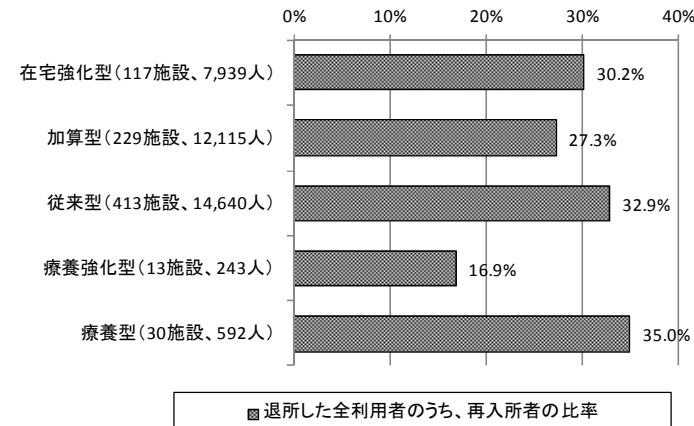
○平成29年1月1日～6月30日の期間に老健を退所した全利用者のうち、死亡退所者の比率は、在宅強化型では8.6%、療養強化型では38.7%であった。

図表23 【老健】退所者のうち、死亡退所者の比率



○平成29年1月1日～6月30日の期間に老健を退所した全利用者のうち、調査時期までに、再入所した人の比率は、療養型で35.0%であった。

図表25 【老健】退所者のうち、再入所者の比率



※退所した全利用者には、死亡退所した者も含む

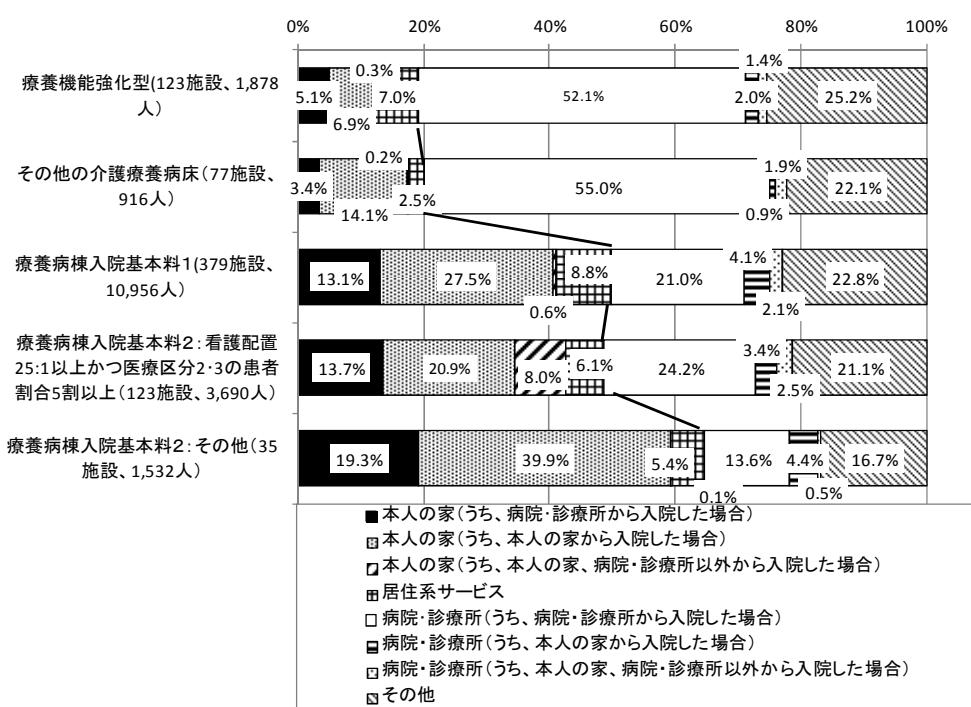
## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

○病院の退院患者の退院先は、

療養機能強化型では「病院・診療所(うち、病院・診療所から入院した場合)」が52.1%、「本人の家(うち、本人の家から入院した場合)」が6.9%であった。

療養病棟入院基本料1では「本人の家(うち、本人の家から入院した場合)」が27.5%、「病院・診療所(うち、病院・診療所から入院した場合)」が21.0%であった。

図表26 【病院】退院患者の退院先



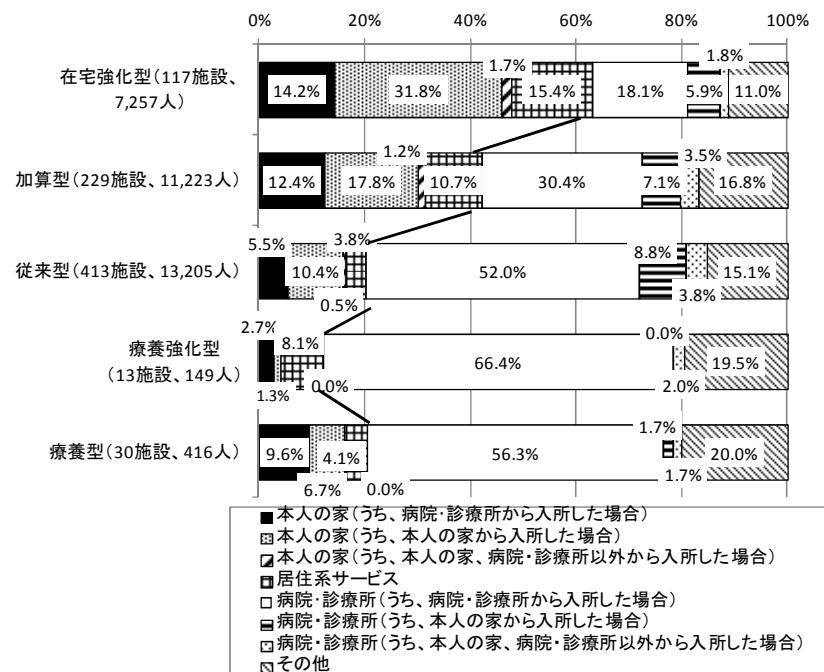
○老健の退所者の退所先は、

在宅強化型では「本人の家(うち、本人の家から入所した場合)」が31.8%、「病院・診療所(うち、病院・診療所から入所した場合)」が18.1%であった。

従来型では「病院・診療所(うち、病院・診療所から入所した場合)」が52.0%、「本人の家(うち、本人の家から入所した場合)」が10.4%であった。

療養型では「病院・診療所(うち、病院・診療所から入所した場合)」が56.3%、「本人の家(うち、病院・診療所から入所した場合)」が9.6%であった。

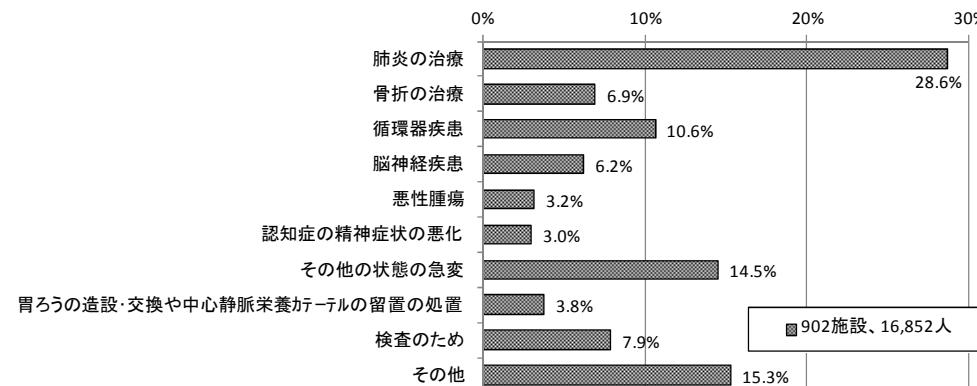
図表27 【老健】退所者の退所先



## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

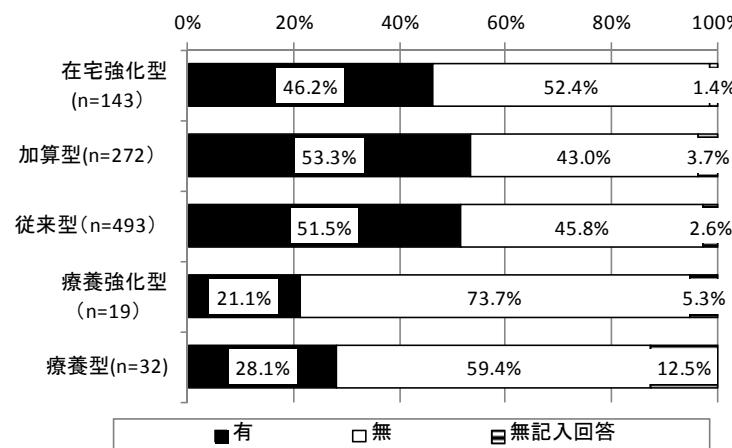
- 老健から病院への退所者の入院理由は、「肺炎の治療」が28.6%、「その他の状態の急変」が14.5%、「循環器疾患」が10.6%であった。

図表28 【老健】病院への退所者の入院理由



- 老健において、病院・診療所への入院期間が1週間以内の短期入院の後、施設へ再入所した人が「有」の施設は、在宅強化型では46.2%、加算型では53.3%、従来型では51.5%、療養強化型では21.1%、療養型では28.1%であった。

図表29 【老健】病院・診療所への入院期間が1週間以内の短期入院で施設へ再入所した人の有無(平成29年1月～6月)



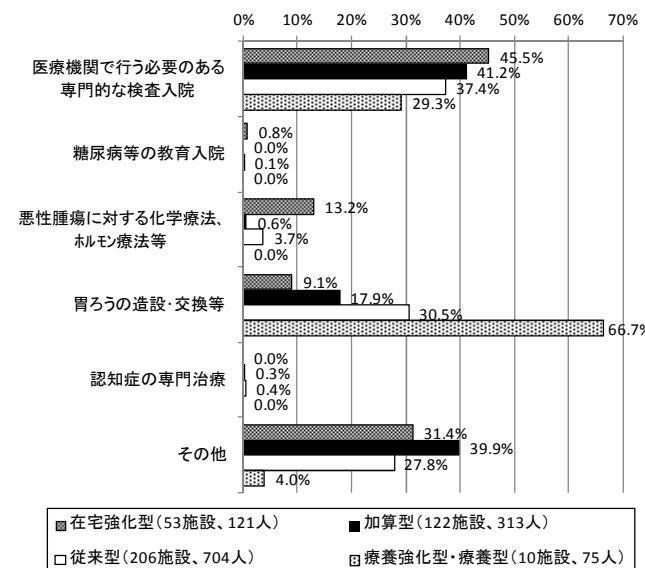
- 1週間以内の短期入院の後、施設へ再入所した人が「有」の施設のうち、在宅強化型では、平成29年1月～6月の期間の平均退所者数は72.0人、うち本人の家への平均退所者数が31.5人、病院・診療所への入院による平均退所者数が17.6人、死亡による平均退所者数が6.2人であった。

図表30 【老健】1週間以内の短期入院者がいた施設】1施設あたりの平均入所定員(単位:人)・平均退所者数等(平成29年1月～6月)(延べ人数:単位:人)

	平均入所定員	平均退所者数	うち、本人の家への平均退所者数	うち、病院・診療所への入院による平均退所者数	うち、死亡による平均退所者数
在宅強化型(n=53)	90.4	72.0	31.5	17.6	6.2
加算型(n=122)	95.8	56.6	15.8	22.8	3.7
従来型(n=206)	94.6	40.3	5.9	24.5	3.5
療養強化型・療養型(n=10)	65.7	30.7	2.1	18.4	5.8

- 1週間以内の短期入院となった者について、その入院理由は、在宅強化型では「医療機関で行う必要のある専門的な検査入院」が45.5%であった。

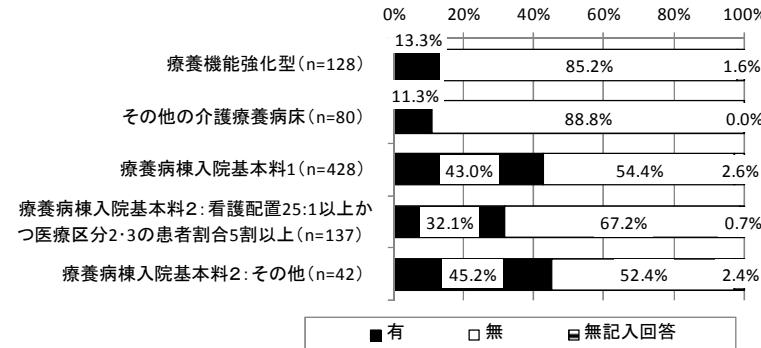
図表31 【老健】病院・診療所への入院期間が1週間以内の短期入院で施設へ再入所した人の入院理由(平成29年1月～6月)(延べ人数)



## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

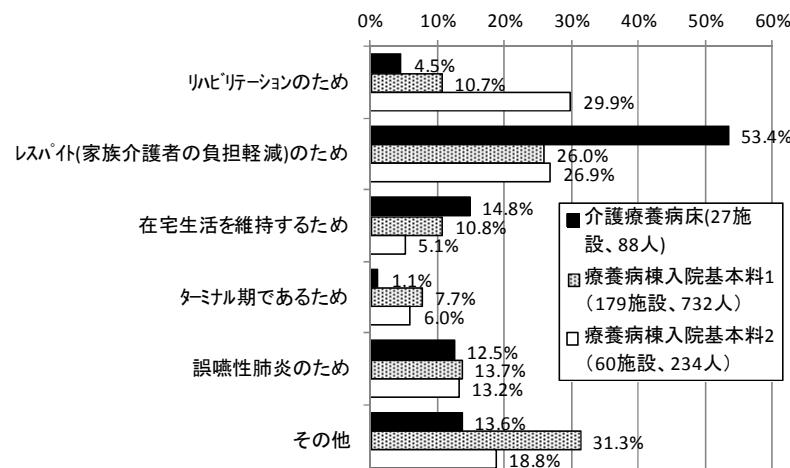
○病院の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者が「有」の施設は、療養機能強化型では13.3%、療養病棟入院基本料1では43.0%であった。

図表32【病院】平成29年1月～6月の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の有無



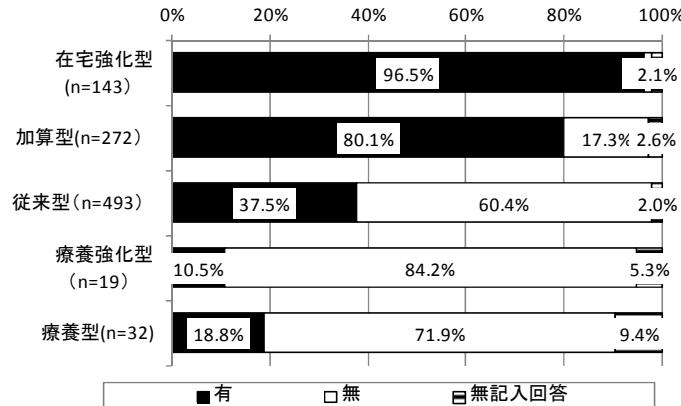
○病院の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の理由は、介護療養病床では「レスパイトのため」が53.4%、療養病棟入院基本料1では「レスパイトのため」が26.0%、療養病棟入院基本料2では「リハビリテーションのため」が29.9%であった。

図表33【病院】平成29年1月～6月の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の理由別分布



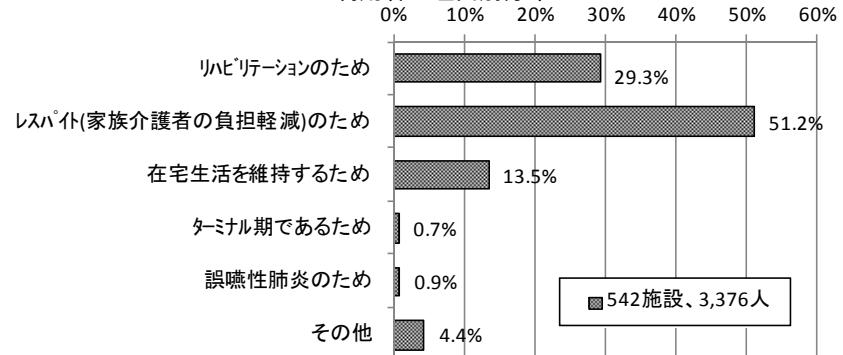
○老健の退所者のうち、在宅との入退所を繰り返している利用者が「有」の施設は、在宅強化型では96.5%、加算型では80.1%、従来型では37.5%、療養強化型では10.5%、療養型では18.8%であった。

図表34【老健】平成29年1月～6月の退所者のうち、在宅との入退所を繰り返している利用者の有無



○老健の退所者のうち、在宅との入退所を繰り返している利用者の理由は、「レスパイトのため」が51.2%、「リハビリテーションのため」が29.3%、「在宅生活を維持するため」が13.5%であった。

図表35【老健】平成29年1月～6月の退所者のうち、在宅との入退所を繰り返している利用者の理由別分布

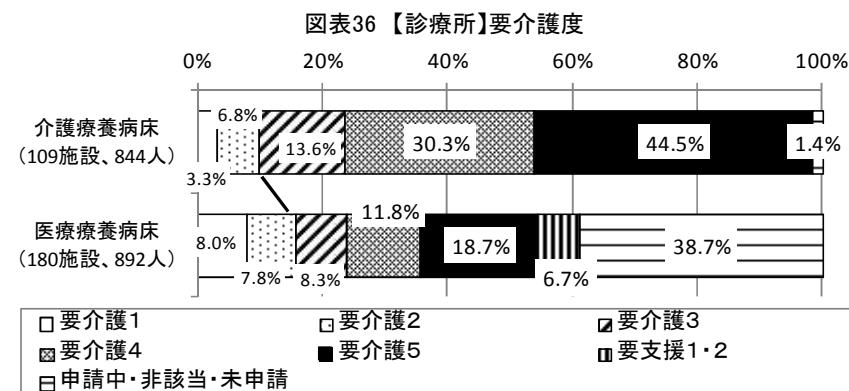


※ここで入退院・入退所の繰り返しとは、おおむね過去1年以内の2回以上の入院・入所を指す

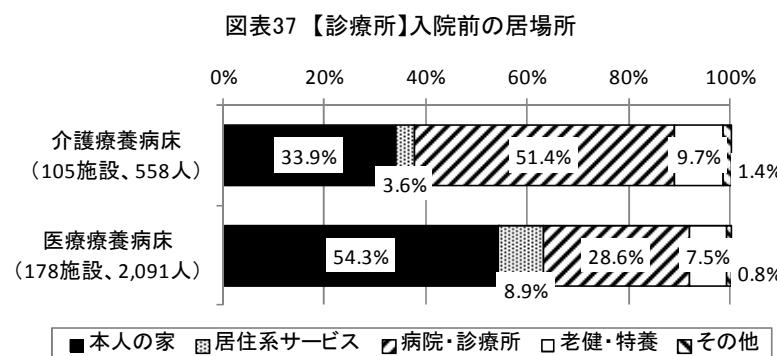
## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

### 7) 診療所の調査結果

- 要介護度は、  
介護療養病床では「要介護5」が44.5%、「要介護4」が30.3%、「要介護3」が13.6%であった。  
医療療養病床では「申請中・非該当・未申請」が38.7%、「要介護5」が18.7%、「要介護4」が11.8%であった。

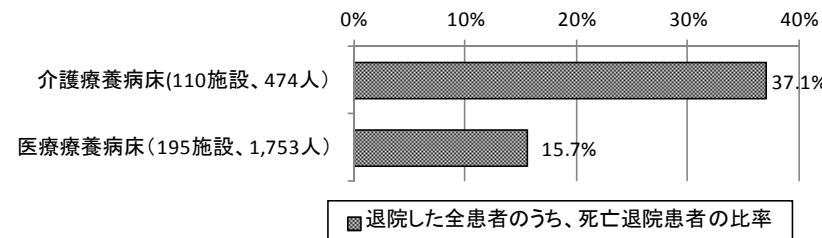


- 入院患者の入院前の居場所は、  
介護療養病床では「病院・診療所」が51.4%、「本人の家」が33.9%であった。  
医療療養病床では「本人の家」が54.3%、「病院・診療所」が28.6%であった。



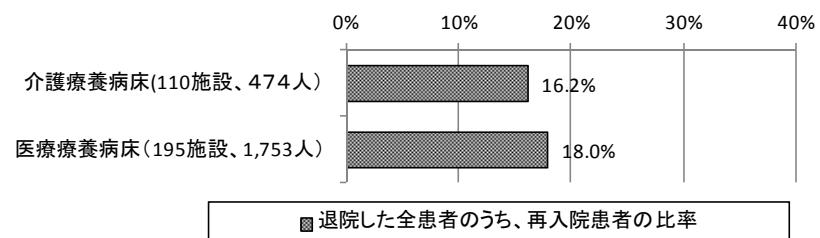
- 平成29年1月1日～6月30日の期間に退院した全患者のうち、死亡退院患者の比率は、介護療養病床では37.1%、医療療養病床では15.7%であった。

図表38 【診療所】退院患者のうち、死亡退院患者の比率



- 平成29年1月1日～6月30日の期間に退院した全患者のうち、再入院患者の比率は、介護療養病床では16.2%、医療療養病床では18.0%であった。

図表39 【診療所】再入院患者の比率



※退院した全患者には、死亡退院した者も含む。

## (2) 医療提供を目的とした介護保険施設等の施設の役割を踏まえた利用者等へのサービスの在り方に関する調査研究事業

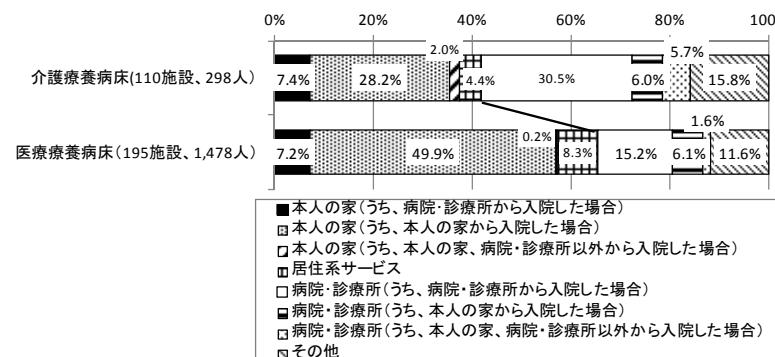
○処置等の実施割合は、介護療養病床では「リハビリテーション」が32.9%、「摘便」が30.8%、「喀痰吸引」が23.9%であった。医療療養病床では「リハビリテーション」が43.0%、「静脈内注射」が32.6%、「摘便」が24.7%であった。

図表40【診療所】処置等の実施割合(単位:%)

	介護療養病床	医療療養病床
回答施設数	105	160
入所者数	869	1,109
胃ろう・腸ろうによる栄養管理	15.1	11.2
経鼻経管栄養	12.1	9.4
中心静脈栄養	2.0	2.9
カテーテルの管理	20.7	12.8
ストーマの管理	1.4	0.8
喀痰吸引	23.9	20.2
ネフライザー	1.6	2.6
酸素療法	4.6	15.6
気管切開のケア	0.5	1.0
人工呼吸器の管理	0.2	0.2
静脈内注射	19.7	32.6
皮内、皮下及び筋肉内注射	2.8	8.1
簡易血糖測定	5.6	8.7
インスリン注射	2.0	3.9
疼痛管理(麻薬なし)	2.2	7.2
疼痛管理(麻薬使用)	0.0	0.6
創傷処置	6.4	9.6
褥瘡処置	18.9	9.0
浣腸	11.0	14.6
摘便	30.8	24.7
導尿	2.1	2.3
膀胱洗浄	9.0	5.9
持続モニター測定	3.6	10.5
リハビリテーション	32.9	43.0
ターミナルケア	2.6	2.1
歯科治療	2.9	6.1

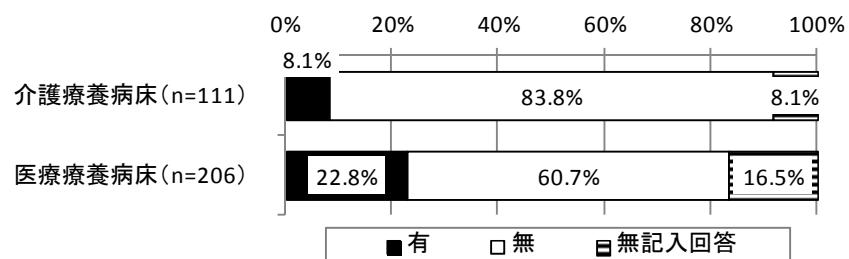
○退院患者の退院先は、介護療養病床では「病院・診療所(うち、病院・診療所から入院した場合)」が30.5%、「本人の家(うち、本人の家から入院した場合)」が28.2%であった。医療療養病床では、「本人の家(うち、本人の家から入院した場合)」が49.9%、「病院・診療所(うち、病院・診療所から入院した場合)」が15.2%であった。

図表41【診療所】退院患者の退院先



○退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者は、介護療養病床では「有」が8.1%、医療療養病床では22.8%であった。

図表42【診療所】平成29年1月～6月の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の有無



○退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の理由は、介護療養病床では「レスパイトのため」が47.6%、「在宅生活を維持するため」が19.0%であった。医療療養病床では「レスパイトのため」が19.5%、「在宅生活を維持するため」が16.5%であった。

図表43【診療所】平成29年1月～6月の退院患者のうち、在宅との入退院を繰り返している利用者の理由別分布

